



土の花きゃべつ

中新統瑞浪層群本郷累層下部一凝灰質中粒砂岩層——という戸籍名では味も素ッ気もない 第一長すぎるよ。

というわけで まさか正式の報告書に使うわけにも行かないが この岩層は「土の花きゃべつ」というアダ名をもらった。程度の差こそあれ風化面にこんな奇妙な小凹凸が発達し 巨人国の花きゃべつはこんなかな……と思わせるイメージがあったからである。

とはいっても もちろんこの凹凸は実在の植物とは関係がない。岩の適度なしまりねばり 粒度などが表面のひびわれのできたを規制し 雨風に対しても もろすぎずかたすぎず うまい具合に抵抗力のちがいがきいてこのようになったには違いないが「なぜ？」と改まって聞かれた時の正確な説明はなかなかむずかしそうだ。

ともあれ 私たちにとっては ウランの発見された可児夾炭累層の上位にこの「土の花きゃべつ」の層がのっていることは大助かりであった。こまかい地質図を作ってゆく作業では こんな特長が実により対比の目印になるからである。

第 10 回 写真コンクール 参加作品 「土の花きゃべつ」 鉦床部 核原料資源課 小尾 五明

——岐阜県可児郡御嵩町前沢にて——

…地質調査所の出版物…

- ・地質調査所月報 第15巻 第9号
報 文
井上 秀雄：大分県津久見石灰岩中のドロマイト鉦床
陶山 淳治 小野 吉彦 馬場 健三：火山碎屑物に覆われ
る堆積岩地域における直流法の結果について
斎藤 友三郎：鹿児島県児ヶ水湾の底質について
概 報
長崎県佐世保市下小高島構造試錐の概要（河内）
資 料
oil-bearing の炭酸塩岩中のウラン鉦化作用の
epigenetical な累帯性について（黒田訳）
- ・地質調査所月報 第15巻 第10号
報 文
Atsuyuki Mizuno: A Study on the Miocene Molluscan
Faunas of the Kitatsugaru and Nishitsugaru
District, North Honshu
本庄 静光 井波 和夫 南雲 昭三郎：静岡県天竜川水系水
窪ダム地点弾性波速度測定報告
概 報
釧路炭田西部尺別および本岐地域主要炭層の花粉分析研究
一釧路炭田における花粉学的研究 1—（徳永・屋上）
四日市市工業用水法指定地域内の地下水揚水可能量について
（蔵田・小西・尾崎・野間・岸・後藤）
資 料
樞東における第三紀・第四紀海生珪藻フロラ発達の
主要段階（桑野訳）

No. 124 12月号 目次

- わが国の黒鉦土鉦床について②
- アルミニウム資源Ⅱ—②
- 放射線が物質におよぼす作用
- 海底地質サンプリング用ポンツーンについて
- 四方向同時観測機について
- 地質見学旅行ガイド
- 濃尾平野
- マダガスカル見聞記

地質ニュース

第123号 11月号

定価 ¥220 千12

昭和39年11月25日 発行

- 編 集 工業技術院 地質調査所
- 発 行 者 林 久 雄
- 発 行 所 株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段4の11
Tel. (261) 7173・9387
振替口座東京 33466
- 線発売元 政府刊行物販売所
東京都千代田区大手町1の5
Tel. (211) 5570
- 印 刷 所 共同印刷株式会社